

Yokohama Tire Manufacturing Virginia, LLC (YTMV) (米国)

事業内容

乗用車および小型トラック用タイヤの生産

敷地面積

243,000m²

従業員数

642名 (2023年1月1日現在)

所在地

1500 Indiana Street, Salem, VA 24153

相談・苦情などの受付窓口

TEL : +1-800-433-9851 (フリーダイヤル、米国内のみ利用可)

EHS担当ディレクター ニール・ダルトン

メールアドレス : Neil.Dalton@yokohamatire.com



社長メッセージ



圖師 修 (ずし おさむ)

ヨコハマタイヤマニュファクチャリングバージニア (YTMV) は、組織全体でCSRの重要性を認識し、その確立に努めています。YTMVは、長年にわたり周辺地域社会に積極的に貢献してきた歴史があり、地元ではトップクラスの企業であると評価されています。

YTMVの基本的なCSRの考え方は、持続可能な事業運営、従業員の参画、環境への配慮です。ISO14001:2015規格に準拠して開発された方針と手順は、規制順守と継続的改善のための基盤と全体的なガイドラインを提供します。

YTMVはまた、2030年および2050年に向けた横浜ゴムのCO2排出削減の取り組みと連動して、省エネルギーと二酸化炭素排出量の削減にも取り組んでいます。

今後もYTMVは、従業員の安全な労働環境、環境への最小限の影響、天然資源の保護しながら、高品質の製品を生産していきます。

組織的なガバナンス

2022年度の行動計画のスローガンは、「挑戦を制限するな、限界に挑戦せよ-計画を立てる前に徹底的に分析せよ-スピードをもって行動せよ」です。

2023年は、さまざまな企業活動の強化に注力し、地球環境保全と人類の幸福のために、環境負荷の最小化に取り組むことを重要視しています。



2022年度の方針

人権

倫理に反する行為やハラスメントを防止するため、人権擁護を定めた「横浜ゴム行動指針」を全従業員に教育・啓発しています。

そのために、CB2L（Computer Based Learning Lesson）を活用しています。

授業は、方針を説明するミニクイズからなる複数のスライドで構成され、各回の最後に理解度テストを実施しています。

全社員に80点以上のテスト合格を義務付けています。

YTMVは、すべての従業員に対して「オープンドア」ポリシーを貫いています。

従業員が職場で不当な扱いを受けたと感じた場合、懸念を表明し、解決できるような機会を提供しています。

また、人種、宗教、肌の色、性別、年齢、国籍などの問題に関して、州法および連邦法に定められた差別のない雇用契約について、組合と合意しています。



コンピュータを使った学習レッスン

労働慣行

雇用機会均等

YTMVは、当社で働くことを希望する人々に、平等な雇用機会を提供することを約束します。私たちは、雇用のすべての条件に関して、雇用機会均等（Equal Employment Opportunity（EEO））ポリシーを実施しています。

2022年は、人事部は雇用法の要件に基づき、全管理職と従業員を対象に雇用に関する面接による研修を実施しました。

研修では、機会均等法が適用される分野（人種、性別、宗教、年齢など）、身体・精神障害、会社が提供する宿泊施設の利用などについて取り上げました。この研修は、従業員の理解を深めることに成功しました。

会社と従業員の間を強化するために、採用面接の改善案について従業員の意見を聞きます。

安全と健康

安全管理部は、2022年は「従業員の安全と健康を守ること」を最優先課題とし、それに基づいた活動を行うことを明確にしています。そのため、週1回のリスクアセスメントや部門管理者とのミーティング、多くの監査プログラムなど、積極的な取り組みを行っています。

- ・ 新入社員研修と定期的なフォローアップの実施
- ・ 職場異動時の教育
- ・ 外部委託先への教育
- ・ 災害発生時に使用する緊急連絡先訓練
- ・ 災害発生時の緊急搬送訓練
- ・ PIT（車両）トレーニング
- ・ ロックアウト/タグアウト研修
- ・ OSHAが義務付ける30時間トレーニング
- ・ 環境マネジメント研修
- ・ 営業開始時にKYとトレーニングを実施

YTMVの両事業部門とその従事するさまざまなプロセスに関する教育・訓練に加え、保護具や安全装置を備えた設備・施設についても常に改善を進めています。全従業員に支給される個人用保護具については、すぐに使用できるよう常に準備万端な状態で保管しています。また、着用・使用については積極的に推進・管理しています。事故が発生した場合は、徹底した調査を行い、さまざまな対応策を提案・実行し、その後のフォローアップも行っています。

何よりも大切なのは、社員が仕事を終えて安全に帰宅できることです。

緊急時の対応

職場で発生するさまざまな医療事故に対応するため、24時間体制で緊急対応車両を用意しています。また、狭い場所や高所からの救出など、さまざまな状況に対応できるよう、高度な訓練を受けた24名の隊員からなる救急救命隊を組織しています。定期的に火災や緊急事態に対応する訓練を行い、全従業員の意識向上を図っています。



レスキュー隊の消火訓練



環境

廃棄物のリサイクル

2022年、YTMVは廃棄となったスーパーの袋やラベルの台紙といった資材のリサイクルを拡大しました。2023年には、リサイクル市場が大きく変動していることが、リサイクル可能な材料の二次的な販売先を維持することに引き続き注力します。このように信頼できるリサイクルの出口を持つことは、YTMVが完全ゼロエミッション（埋立廃棄物ゼロ）を維持するのに役立ちます。

YOKOHAMA千年の杜活動

2017年、YTMVはオンサイトの「YOKOHAMA千年の杜活動」（会社の敷地内で行われているもの）を終了しました。2022年、YTMVはアーバーデイ財団と協力し、ジョージア州にロングリーフとショートリーフの松の木1000本を寄贈しました。これらの木々は、公有地と私有地が混在する場所に植えられました。そして、絶滅の危機に瀕している野生生物種の住処となります。

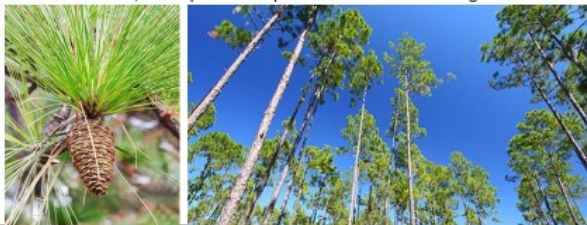
Arbor Day 2023

• Longleaf pine

Longleaf pine was once the dominant tree species in the South, covering more than 90 million acres from Virginia to Texas. Early settlers gradually began clearing the forests away for agriculture and lumber around 400 years ago. As they disappeared, these valuable trees were replaced with less expensive and faster-growing varieties. Today, longleaf pine covers less than 3% of its original range. That loss of ecosystem has been devastating to the nearly 600 animal and plant species that depend on it.

In partnership with the Arbor Day Foundation, Yokohama Tire Manufacturing Virginia LLC is helping plant 1,000 longleaf and shortleaf pine trees in Georgia. These trees will be planted across a mix of public and private lands.

As the trees grow, they will reduce forest fragmentation and give a home to endangered wildlife like the red-cockaded woodpecker, eastern indigo snake, and gopher tortoise. They'll also reduce erosion, due to their ability to grow in sandy and mountainous areas. And, because longleaf pine is resistant to weather extremes and disease, these positive impacts will continue on for generations.



YOKOHAMA

環境データ

項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
廃棄物処理量 (t)	1,509	1,616	1,369	1,454	1,286	
埋立率 (%)	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
埋立量 (t)	16.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
エネルギー使用量 (原油換算: kl)	電力	16,776	16,549	13,969	16,133	15,434
	燃料	9,109	8,553	6,884	8,208	8,089
	合計	25,885	25,102	20,853	24,341	23,523
温室効果ガス排出量 (千t-CO ₂)	49.5	48.0	39.9	58.5	38.8	
水使用量 (千m ³)	140.5	137.4	116.7	137.6	134.4	

※年度：1月～12月

※海外拠点の温室効果ガス排出量の算定は、GHGプロトコルを使用しました。

排水管理

YTMVでは、排水管理を徹底し、毎年、排水規制の基準を遵守し続けています。YTMVでは、排水の流量を毎日監視し、排水源となる場所で定期的に検査を行い、基準への準拠を適切に維持しています。また、自主的なサンプリングも毎月行っています。



自主サンプリング用に購入したサンプリング装置

生物多様性保全活動

当社は、生物多様性活動の充実と工場周辺の生態系や環境に対する積極的な貢献を目的に、2015年に2つの生物多様性保全プロジェクトを立ち上げました。2020年度にはプロジェクトを中断しました。ブルーバード保護活動は中断しましたが、YTMVは現在も複数の鳥類の生息地を維持しています。



ブルーバード保護活動

バージニア州ブルーバード協会は1996年に設立されました。ブルーバードが子育てできる環境を提供し、種の減少を抑制することを目的としています。

2022年度、YTMVのブルーバード生息地のモニタリングは限定的でしたが、鳥小屋は毎年、複数種の鳥に生息地を提供し続けています。



巣箱の観察

河川の水質監視プログラム

YTMVは、河川水質監視プログラム※には参加していません。

※当社から下流を流れるロアノーク川沿いの水質を監視し、年に2〜4回ごとにデータを収集しています。この活動はバージニア州と提携しており、地元の河川の生態系の健全性の情報を提供することで、その復元に貢献します。

環境対策

バージニア州環境優良企業プログラム（VEEP）

VEEP（Virginia Environmental Excellence Program）は、バージニア州内にある施設に対して、法定最低限以上の環境改善を促すために、バージニア州政府（Commonwealth of Virginia）が開始したプログラムです。2017年第4四半期、YTMVのVEEPステータスは、VEEPで事業者が獲得できる最高レベルのE4（Extraordinary Environmental Enterprise）に格上げされました。E4ステータスの取得により、地域コミュニティ内での知名度向上、特別な許可のための取扱手数料の削減、規制上の優遇措置等のメリットがあります。

公正な事業慣行

化学物質の管理

工場内で使用するすべての材料は、横浜ゴムの禁止化学物質リストを遵守し、グリーン調達ガイドラインに沿ったものを使用しています。

安全データシート（SDS）は、材料ごとに継続的に管理し、ウェブシステム（Sphera/Sitehawk）を使用して更新しています。

消費者課題

お客様訪問

いつでもお客さまをお迎えできるよう、万全の体制を整えています。

コミュニティへの参画と発展

地域との交流・ボランティア活動

パンデミックのため、2021年は地域交流やボランティア活動を休止しました。これは2022年まで続きました。2023年、YTMVはコミュニティ参加チームを再構築します。

地域貢献

2022年も、当社と社員は地域の慈善団体や組織への寄付を継続しました。

ユナイテッド・ウェイ

（ロアノーク地域の教育、家庭、医療、環境などを支援する）。



Yokohama Tire Manufacturing Mississippi, LLC. (YTMM) (米国)

事業内容

トラック・バス用ラジアルタイヤの生産

敷地面積

2,000,000m²

従業員数

860名 (2022年12月現在)

所在地

1 Yokohama Boulevard, West Point, MS 39773

相談・苦情などの受付窓口

TEL +1-800-423-4544 x6936 (フリーダイヤル、米国内のみ利用可能)

YTMM Manager, EHS. Peter Papas

e-mail: Peter.Papas@yokohamatire.com



社長メッセージ



森本 剛央 (もりもと たけひさ)

ヨコハマタイヤマニュファクチャリング・ミシシッピ (YTMM) は、横浜ゴムの企業ビジョンである「地球社会に貢献する企業として信頼される存在になる」ことの実現を目指しています。そのため、私たちは、製造業務と環境および社会のニーズとの調和を実現するよう努めています。

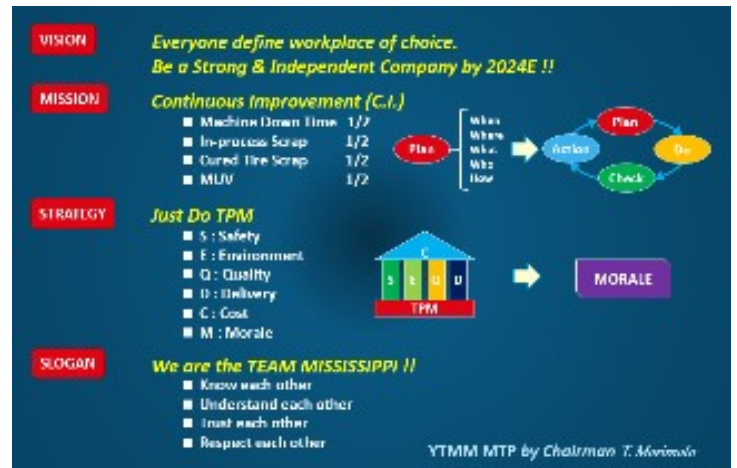
YTMMは、エネルギー消費量や廃棄物発生量の削減対策を推進し、持続可能な社会づくりに貢献しています。プラスチックなどの素材をリサイクルし、リデュース・リユース・リサイクルの取り組みによってCO2排出量削減に貢献できるよう、従業員への教育を行っています。

私たちは、社員の安全と安心を優先した職場づくりを心がけています。YTMMの全社員は、異常を発見したら「ストップ」「コール」「ウェイティング」を使うよう指導され、権限を与えられています。3Sの活用が進み、労働災害の減少につながっています。

YTMMは、地元で最大の雇用主の一つとして、従業員が安全かつ健康的に働くことができ、安心して能力を最大限に発揮できる職場環境づくりに努めています。また、従業員が横浜に関わることに誇りを持てるような、地域社会から選ばれる雇用者になることを目指しています。当社のスローガンにあるように、"We are Team Mississippi"なのです。

組織統治

2023年、私たちは、TPMを基盤として、すべての企業活動の強化に引き続き注力します。私たちの使命は、PDCAの手法を用いた継続的な改善によって、機械のダウンタイムとスクラップという主要な指標を押し下げることです。2024年末には、自立した強い企業になることが私たちのビジョンです。



Vision for 2023

人権

倫理に反する行為やハラスメントを防止するため、人権擁護を定めた「横浜ゴム行動指針」を全従業員に教育・啓発しています。YTMMは、すべての従業員に対して「オープンドア」な方針を貫いています。従業員が職場で不当な扱いを受けたと感じた場合、懸念を表明し、解決できるような機会を提供しています。YTMMの雇用は、人種、宗教、肌の色、性別、年齢、国籍の問題に関して、州法と連邦法に規定された差別のないものである。

労働慣行

雇用機会均等

YTMMは、当社で働くことを希望する人々に、平等な雇用機会を提供することを約束します。私たちは、雇用のすべての条件に関して、雇用機会均等（Equal Employment Opportunity (EEO)）ポリシーを実施しています。

安全と健康

安全監査、SOP安全審査、新規設備安全審査、リスクアセスメント、キアゼンボードレビュー、ゲンバを活用し、安全性向上に努めたすべての人をすべてのリーダーが表彰しています。

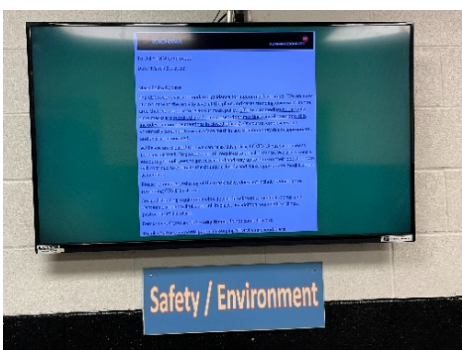
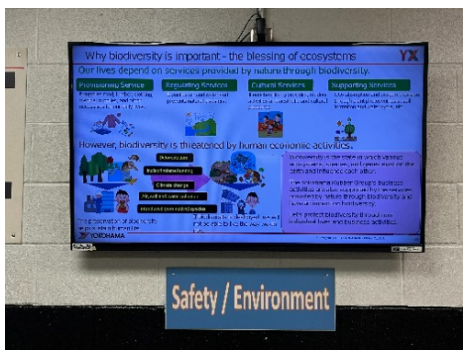


危険予知

毎週行われる役員安全監査とSOP安全レビューにより、YTMMの安全プログラムの方向性と成功を確認しました。安全ブリーフはCOVID-19の認識、予防、職場と家庭でのプロトコルに重点を置いています。



パワーポイントを定期的に更新し、24時間365日の安全に関するトピックやスローガンを掲載しました。



緊急時の対応

COVIDの発生が少なくなったため、私たちの緊急対応は、YTMMの緊急対応者数（施設18人）を強化する方向に変わりました。コビッドの流行が少なくなっても、私たちのチームはプロトコル、トラッキング、教育を遵守しています。



環境

ヨコハマ・クリーンアップ・ザ・ワールド・デー

YTMMの従業員は、地域のマーシャルパークの清掃活動に参加しました。また、工場敷地内の清掃活動も行いました。

環境データ

項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
廃棄物処理量 (t)	8,387	7,480	6,733	3,791	4,530	
埋立率 (%)	8.9	7.3	6.0	16.4	16.6	
埋立量 (t)	745.0	545.0	405.0	623.0	751.7	
エネルギー使用量 (原油換算: kl)	電力	—	15,167	13,448	14,539	16,108
	燃料	—	5,444	4,609	4,324	4,921
	合計	—	20,611	18,056	18,863	21,029
温室効果ガス排出量 (千t-CO ₂)	—	38.3	33.6	35.1	33.418	
水使用量 (千m ³)	—	197.0	159.6	136.3	163.4	

※年度：1月～12月

※海外事業所の排出量は、Greenhouse Gas Protocol Initiativeに基づき算出しています。



排水管理

当社は排水管理を徹底し、8年連続で法的基準をクリアしています。

公正な事業慣行

化学物質の管理

工場内で使用するすべての材料は、横浜ゴムの禁止化学物質リストを遵守し、グリーン調達ガイドラインに沿ったものとなっています。安全データシート（SDS）は、材料ごとに継続的に管理され、ウェブシステム（Site hawk）を使って更新されています。

消費者課題

お客様の訪問

いつでもお客さまをお迎えできるよう、万全の体制を整えています。

コミュニティへの参画と発展

地域との交流・ボランティア活動

約70名の従業員がコロンバス、ウェストポイント、アバディーンのクリスマス・パレードに参加しました。また、約45人の従業員が、がん研究の資金集めのために、YTMMスーザン・コーメン・キャンサー・ウォークに参加しました。

社内外のステークホルダー向けに50回以上の工場見学を実施しました。

YTMMは地元の小学校と高校のスポーツチームのスポンサーを継続しました。



地域貢献

2022年度も、当社および社員は、地域の慈善団体や組織への寄付を行いました。

Yokohama Industries Americas Inc. (YIA) (米国)

事業内容

自動車用エアコン、パワーステアリングおよびトランスミッションオイルクーラーホースアセンブリーの生産販売

敷地面積

YIA Inc. (DIV.1) 15,100m²

YIA South Carolina LLC. (DIV.3) 11,200m²

YIA Ohio Inc. (DIV.5) 12,820m²

YIA Mexico (DIV.6) 9,300m²

従業員数

1,203名 (2023年2月現在)

所在地

Versailles工場 105 Industry Drive, Versailles, KY 40383, USA

相談・苦情などの受付窓口

TEL : +1-864-850-2342 Fax: +1-864-306-2004

メールアドレス : Matthew.OShields@yokohamaia.com



社長メッセージ



Brian Franklin

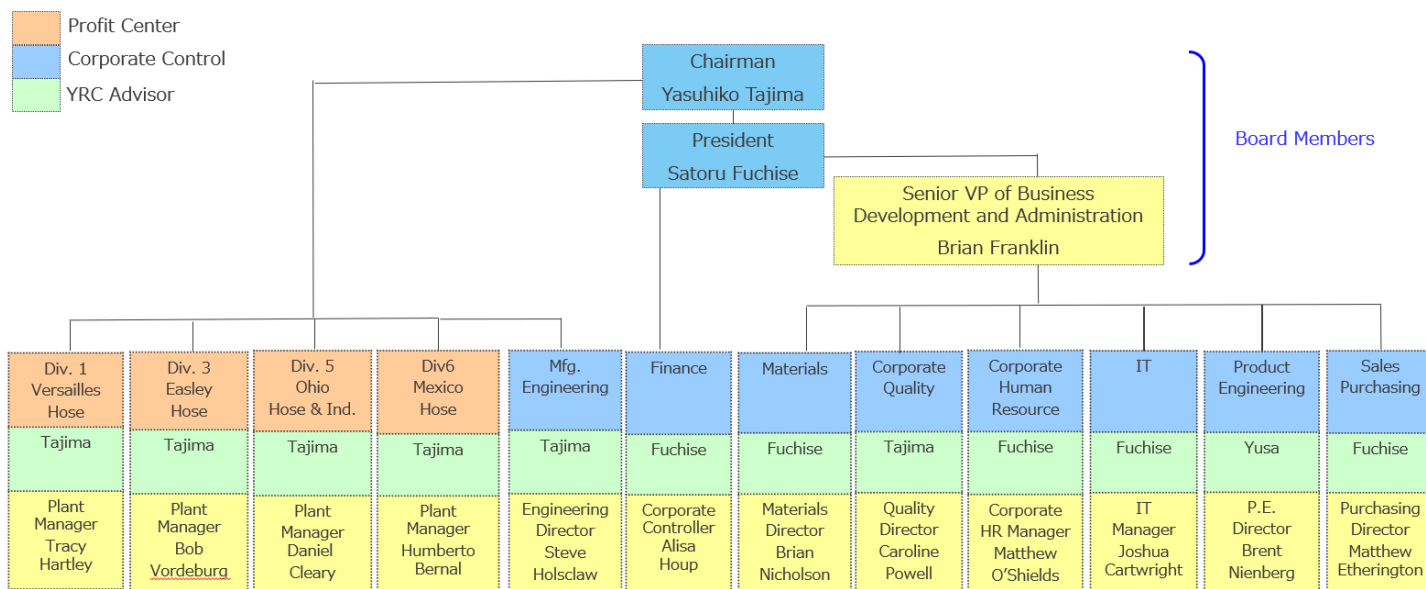
YIAは、全ての従業員に最良の雇用条件と昇進の最大の機会を提供するよう努めています。従業員の安全と幸せは、YIAとその経営陣にとって最重要事項であり、今後もそうあり続けます。

そのため、安全で健康的な職場環境を作ること、そして、各従業員がその才能と技能を最大限に発揮するために必要な裁量を持って、有意義でやりがいのある職場を提供することを目指しています。

YIAでは従業員が常に常識に挑戦することを望んでおり、そのため上司や同僚の間で創造性と開放性を発揮するようコミュニケーションを促しています。

その結果、社員が自分の職場に誇りを持ち、自分の仕事に真摯に向き合い、日々ベストを尽くすことにつながります。

品質、コスト、納期、サービスの各分野において、お客様の期待を上回る成功を収めるためには、このような各個人の研鑽とこだわりが不可欠なのです。



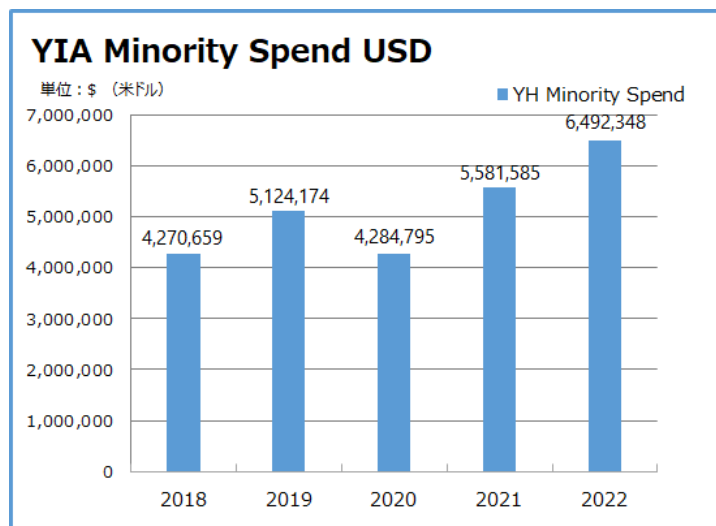
人権

人権への取り組み

YIAは全人種の人権を尊重し、直接または間接的な潜在的差別行動を認めておりません。また人権保護に関する連邦、州法に遵守し、雇用機会均等委員会により制定されたルール、規制に従っております。

マイノリティが経営している会社との取引機会の推進

YIAは、マイノリティ（アフリカ系、ヒスパニック系などの社会的な少数派グループなど）が経営する会社とのビジネスを積極的に推進しています。また我々は日々ニーズに合致した製品やサービスを提供するマイノリティのビジネスを探索しています。長年に渡って我々はマイノリティとのビジネスを通じて成長してきました。ここ数年マイノリティのビジネスは我々のそれより飛躍的に成長してきております。



労働慣行

労働安全衛生

YIAは、従業員の安全を第一としています。そのために最も重要なことは、アクシデント発生前にリスクを認識し是正することです。YIAの安全活動を以下に示します。我々は日々作業中のリスクと事故の関係を追求した安全プログラムを改善していくことに取り組んでいます。

主な活動内容

1. 部門間の手順を標準化し、継続性と一貫性を確保します。
2. 法律およびコンプライアンス順守のため、全拠点のトレーニングを強化します。
3. システムを統合し、よりスムーズな業務フローを実現します。
4. 各工場の玄関ドアにサーモスキャナーを設置し、敷地内に入る人の体温上昇をスクリーニングしました。
5. 「5S」「環境」「安全」に焦点を当てた「5SENS」グループ監査プロセスを開発しました。
6. 業務を強化するにあたり、すべての新入社員を対象とした安全トレーニングに重点を置きました。

災害時の対応

YIAは、けが人及び災害時の危険な状況下において初期対応(救助が来るまでの応急処置)の訓練を受けた災害対応チーム (ERT ; Emergency Response Teams)を編成しています。現在そのチームは、コロナに対して従業員の感染状態を簡易判断する訓練を受けています。彼らは他の従業員への健康リスクがある従業員がいるか否かを質疑応答と体温から判断します。

従業員の教育・訓練

教育と訓練は従業員の育成、効率的生産を確保する上で極めて重要であるため、YIAでは、従業員へ継続的な教育訓練プログラムを準備しています。

2020年はソーシャルディスタンスを確保した上でのトレーニングへ見直す年でした。密にならない職場環境を維持するために、PCによるトレーニング室設置や現場でのトレーニングセッションを延期しなければなりませんでした。

Microsoft Teamもトレーニングに活用し、Microsoft Streamを導入して会議やプレゼンを記録し、従業員はいつでもそれらを閲覧できるようにしました。

2021年も、ソーシャルディスタンスを確保等の施策の為に引き続き困難な年でした。 Microsoft Teamsを利用して、Microsoft Streamでより多くの仮想トレーニングを行い、会議やプレゼンテーションを記録して、従業員が自分のペースで確認および学習できるようにしました。私たちがパンデミックの間に始めたこれらの慣行は、パンデミックが私たちの後ろにあった後もずっと続けられます。

環境

環境マネジメント

YIA全生産拠点は、ISO14001の認証工場です。全米国工場では、「埋め立てゼロ」になって5年目を迎えています。メキシコ工場は、2022年6月までに埋め立てゼロを達成するため、メキシコの規制制定に従っていきます。また全生産拠点では、環境への影響をさらに低減するために、廃棄物削減とリサイクルに注力しています。

YIA（ホース事業部管轄） DIV.1の環境データ

項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
廃棄物処理量 (t)	194	229	160	108	157	
埋立率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
埋立量 (t)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
エネルギー使用量 (原油換算: kl)	電力	2,150	2,288	1,987	2,203	2,236
	燃料	79	122	42	17	11
	合計	2,229	2,409	2,029	2,220	2,247
温室効果ガス排出量 (千t-CO ₂)	5.5	6.0	5.0	7.4	3.7	
水使用量 (千m ³)	25.3	30.1	24.5	26.4	27.8	

※年度：1月～12月

※温室効果ガス排出量の算定は、日本国の環境省・経済産業省発行の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルを使用しました。2016年以降はGHGプロトコルを使用しました。

YIA（ホース事業部管轄） DIV.3の環境データ

項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
廃棄物処理量 (t)	361	454	321	334	368	
埋立率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
埋立量 (t)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
エネルギー使用量 (原油換算: kl)	電力	1,093	1,079	961	959	892
	燃料	104	141	107	79	59
	合計	1,197	1,220	1,068	1,038	951
温室効果ガス排出量 (千t-CO ₂)	2.3	2.4	2.1	1.8	1.5	
水使用量 (千m ³)	4.4	5.8	3.8	3.6	5.8	

※年度：1月～12月

※温室効果ガス排出量の算定は、日本国の環境省・経済産業省発行の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルを使用しました。2016年以降はGHGプロトコルを使用しました。

YIA（ホース事業部管轄） DIV.5の環境データ

項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
廃棄物処理量 (t)	187	124	144	88	58.2	
埋立率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
埋立量 (t)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
エネルギー使用量 (原油換算：kl)	電力	918	867	792	712	663
	燃料	426	516	390	419	538
	合計	1,344	1,383	1,182	1,131	1,201
温室効果ガス排出量 (千t-CO ₂)	2.6	3.5	3.5	3.1	2.1	
水使用量 (千m ³)	12.0	10.4	8.8	7.2	9.6	

※年度：1月～12月

※温室効果ガス排出量の算定は、日本国の環境省・経済産業省発行の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルを使用しました。2016年以降はGHGプロトコルを使用しました。

YIA（ホース事業部管轄） DIV.6の環境データ

項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
廃棄物処理量 (t)	—	11	113	88	1,286	
埋立率 (%)	—	0.0	0.0	5.7	0.0	
埋立量 (t)	—	0.0	0.0	5.0	0.0	
エネルギー使用量 (原油換算：kl)	電力	—	1,449	297	353	414
	燃料	—	0	0	0	0
	合計	—	1,449	297	353	414
温室効果ガス排出量 (千t-CO ₂)	—	0.7	0.5	0.7	675	
水使用量 (千m ³)	—	4.5	5.5	5.0	8,198	

※年度：1月～12月

※温室効果ガス排出量の算定は、日本国の環境省・経済産業省発行の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルを使用しました。2016年以降はGHGプロトコルを使用しました。

公正な事業慣行

汚職の防止

YIAには業務において違反行為が起こらないよう対策を施しています。我々は継続的にそのプロセスを見直しています。2022年、インターネット上の詐欺行為等トラブルに巻き込まれないためにセキュリティの改善を継続しました。

コミュニティへの参画及びコミュニティの発展

各生産拠点にて地域コミュニティで行われているイベントに寄付金活動を実施しました。

2022年活動内容

Organization	Amount Donated (USD)
Miracle Hill Ministries	\$ 500.00
Make a Wish South Carolina	\$ 1,000.00
Pickens County YMCA	\$1,000.00
Ohio School Resource Officers Association	\$ 300.00
Tahj Boyd Foundation	\$ 1,600.00
American Cancer Society	\$500.00
Floyd County Community Center	\$1,500.00
School District of Pickens County Career and Technologies	\$1,500.00
Versailles Police Department Toy Drive	\$1,000.00
Oconee Humane Society	\$1,000.00
Operation Christmas Child	\$500.00
BBB Education Foundation	\$625.00
The Foxtrot Foundation	\$500.00
Donation to local University	\$500.00
K9s for Warriors	\$850.00
Total	\$12,875



スポーツ振興



地域振興



終末期緩和ケアセンター



職業訓練校



がん基金

YOKOHAMA AEROSPACE AMERICA INC. (YAA) (米国)

事業内容

航空機用部品の販売、部材の購買

敷地面積

2,362m²

従業員数

11名 (2022年12月)

所在地

22223 68th Avenue South Kent, WA.98032 U.S.A.

相談・苦情などの受付窓口

Administrator TEL : +1-253-893-0123 FAX : +1-253-893-0173

メールアドレス : asuka.ohara@yokohama-aero.com



社長メッセージ



北坂 哉 (きたさか はじめ)

ヨコハマエアロスペースアメリカは、2001年に設立され、横浜ゴムから出荷される米国ボーイング社製旅客機737、757向けの化粧室ユニット（ラボトリーモジュール）、水タンク（ウォータータンク）の補用部品販売や納入サポート、および横浜ゴム航空部品事業部から調達要求がある部品、材料の調達業務を行っています。

また当社は、米国航空局（FAA）の認定を取得し、米国、世界の航空会社各社に対して補用部品の販売活動を行っています。

横浜ゴムの環境方針に従い、環境問題を認識し、軽量化された航空機用化粧ユニットに代表される環境貢献製品の販売活動を展開しております。

組織統治

行動規範の浸透

Employee Handbookの中にYokohama's Philosophyとして行動規範を規定しています。また入社時とHandbook改訂時に必ず内容の確認を実施しています。2020年度に改訂しました。

人権

人権に関する方針

ハラスメントについて社則で厳しく禁止しています。主な内容として、人種、民族、宗教、性別、年齢、国籍、既婚未婚などによる差別を禁止しています。

また、それらの啓発のため外部機関による教育や横浜ゴムよりの学習資料を基にした教育を行っています。

労働慣行

人事担当マネージャーが、労働に関する法律について毎年講習を受講し変更点などの把握に努めています。連邦および州法に基づき年1回（および当該法規改定時）、従業員への通達、職場への掲示義務を実施しています。

- A. Emergency Plans 災害時の対応
- B. Safety Rules and Injury Reports 社内安全規則
- C. Employee's Rights 従業員権利法
- D. Discrimination Laws 人権差別法などの更新

安全健康な職場環境

危険性物質、機器、機材等の管理を定期的実施しており、ケント市消防署の（倉庫配置、スプリンクラー、消火器、危険物配置、各電源元等）点検の確実な実施、立会いを行っています。

訓練時には安全避難経路の確認、棚卸し時などの不定期作業前には危険予知（KY）の確認を行っています。



コロナ対策の周知活動



環境

環境指針

1. 事業が環境に与える影響の把握に努め、環境保全の向上に努めます。
2. 環境関連の法律、法規を遵守します。
3. 環境負荷の低減を目指した航空機用製品の販売に取り組みます。
4. 省エネ、省資源、リサイクル、廃棄物削減に取り組みます。

最近の取り組み

梱包材の見直しを行い、自社特注の梱包箱をやめ、市販の箱に変更し、リサイクルできる材料を使用しております。

公正な事業慣行

汚職に関する方針

公職者との飲食、贈答品を禁止しており違反したことはありません。

取引先とのコミュニケーション

取引先へ送付するアセスメント書類には要望および意見を記載できる項目を設けています。

消費者課題

消費者とのコミュニケーション

お客さまであるボーイング社をはじめ、全世界のエアライン会社を訪問し、私たちの製品に関する満足度や要望をお聞きしてより良い製品を提供できるよう努めています。品質については、航空宇宙産業の品質マネジメントシステム規格であるAS9100の認定を取得し継続維持しています。



コミュニティへの参画及びコミュニティの発展

地域社会とのかかわり

当社近郊にあるNorthwest Harvest/Kentにおいて、恵まれない子供たちに支給される食料支援物資の仕分けや梱包作業のボランティア活動に毎年参加しています。

2022年は、経営陣の交代と対応する従業員が不足していたため、ノースウエスト・ハーベスト・ケント倉庫でのボランティアには参加しませんでした。

しかし、2023年以降に参加することを検討しています。



地域活動への参加（2020年度の取り組み）

Yokohama Corporation of North America(YCNA)/ Yokohama Tire Corporation(YTC)(米国)

事業内容

YCNA : 販売、マーケティング、製造、技術開発、長期的な経営計画や投資など、北米における横浜ゴムグループに関連するすべての事業を統括
YTC : 高性能タイヤ、ライトトラック用タイヤ、乗用車用タイヤ、商用トラック・バス用タイヤなどの幅広い製品の販売と技術サービス

従業員数

316名（2022年12月時点）、YTCとYCNA人員のみ

所在地

Corporate Headquarters : 1 MacArthur Place, Suite 900 Santa Ana, CA 92707

Western RDC : 16388 Fern Ave, Chino, CA, U.S.A.

Southern RDC : 1250 Barrow Industrial Pkwy, Auburn, GA 30011, U.S.A.

Columbus DC : 5925 Opus Drive, Groveport, OH 43125, U.S.A.

Wilmer DC: 110 Sunridge Blvd. Wilmer, TX 75172

OE Sales Office : 10414 Bailey Road, Suite 514, Cornelius, NC, 28031

ウェブサイト

<https://www.yokohamatire.com/>

社長メッセージ



Yokohama Tire Corporation (YTC) は特別な存在です。優秀な社員を採用・育成し、象徴的なブランドを持ち、市場で最高の製品を提供し、極めて誠実な顧客基盤を築いてきました。その結果、最高の売上高と最終利益の両方で、横浜ゴムグループの世界的なリーディング・カンパニーに成長することができました。このような素晴らしい業績を達成できたのは、社員のたゆまぬ努力と熱意、そしてゆるぎない企業文化によるものです。

私は何度も、YTCは家族的な企業であり、従業員は最大の資産であり続けていると申し上げてきました。こうした価値観を守ることが重要であるため、私たちはミッション、ビジョン、バリュー・ステートメント (MVV) を刷新しました。

MVVを再構築することは、会社として進化するために重要なことです。MVVは私たちにとって最も重要な文書のひとつであり、私たち個人だけでなく、互いに信頼し合えるチームであることを明確に示すものです。その中核にあるのは、お客様にとって欠くことのできないパートナーとなり、比類ない価値でお客様のニーズを上回る存在でありたいという私たちの願いです。

新しいMVVは、私たちのビジネスにおける最適なパフォーマンスを促進し、より良い場所へと向かう勢いを生み出す一助となるでしょう。それは、私たちが将来、より持続可能で、より進歩的で、よりダイナミックに行動するための基盤を築くものです。私たちが深く誇りに思えるような企業文化を築き、維持し、強化し、それが将来的にもたらず対価を得ることにつながり、私たち一人ひとりの責任です。

組織統治

1986年移民法（Immigration Reform and Control Act of 1986）の規定により、当社に雇用されるすべての人は、身元および米国で就労する権利を証明する書類の原本を提出することが義務付けられています。I-9 フォームは、雇用日から 72 時間以内に記入し、連邦政府のガイドラインに従って維持する必要があります。さらに、提出した書類の原本の有効期限が切れている場合は、最新の情報を提出するよう求められることがあります。

当社は、連邦政府のE-Verifyプログラムに参加しています。このプログラムは、I-9フォームに記入された情報を利用して、すべての従業員の身元と雇用資格を確認するものです。当社は、米国での就労が許可された個人のみを雇用することを約束します。

当社は、お客様をはじめ、広く社会からの信頼と信用を得るために、最高の倫理基準に従って事業を行うことを方針としています。当社の従業員は、社会から不利な批判を受けたり、責任あるタイヤメーカーとしての評判を損なうことのないように業務を遂行・管理しなければなりません。常識と高い倫理観は、利益相反を回避するための最良の指針です。

この倫理規範（Code of Ethics）（以下「本規範（“Code”）」）は、横浜ゴムグループで働く私たち全員に期待されるビジネス行動の基準を記述したものです。この規範は、団体協約の適用を受ける者を除き、すべての役員および従業員に適用されます。この規範、会社の方針および手順、またはその他の関連するコミュニケーション（口頭または書面）のいずれも、雇用契約または雇用条件を創出したり、示唆したりするものではありません。

当社は、当社の方針と手続きを継続的に見直し、更新することに努めています。従って、この規範は修正される可能性があります。この規範のバージョンは、他のすべてのバージョン、ポリシー、手順、指示、慣行、規則、文書または口頭での表現と矛盾がある場合、それらに優先します。

ここに含まれる方針は、全国労使関係法の下で従業員が保護されている権利を妨げることを意図したものではありません。

人権

横浜ゴムグループは、差別やハラスメントのない、尊重し合う職場の維持に努めています。従って、性別（性的嫌がらせ、性自認または性表現による嫌がらせ、妊娠・出産または関連する病状に基づく嫌がらせを含む）、人種、宗教（宗教的な服装や身だしなみを含む）、肌の色、国籍、市民権、退役軍人の有無、年齢、性別、性的指向、トランスジェンダーの有無、性的ステレオタイプに基づくものを含むあらゆる差別や嫌がらせは、一切認められません。年齢、性別、性的指向、トランスジェンダー、性的固定観念、精神または身体障害、病状、婚姻状況、登録ドメスティックパートナーの状況、遺伝情報、その他連邦・州・地方の法律で定義されたものに基づく嫌がらせは許されません。このようなハラスメントや差別は、すべて違法です。

このポリシーは、すべての代理店、従業員、およびベンダー、顧客、応募者などの非従業員に適用されます。上司とマネージャーは、ハラスメントのない職場を維持する責任があります。すべての従業員は、礼儀と尊敬をもって互いに接することが期待されています。横浜は、他の従業員の業務遂行を妨げたり、威圧的、攻撃的、虐待的、または敵対的な職場環境を作り出す従業員の行為を容認しません。各従業員は、他者からハラスメントとみなされるような行為を避けるために、適切な判断をしなければなりません。

雇用におけるハラスメントや差別は、さまざまな形で行われます。

- ・ 個人の身体、服装、色、身体的外観または才能、年齢、病状、軽蔑的な発言、個人の性的習慣に関する質問、ひいきめの言葉や発言、脅迫、暗示的または侮辱的な音などの冗談、悪口、中傷、好ましくない発言などの言語的行為。

物理的な行為とは、通常の業務を物理的に妨害すること、移動を妨げること、暴行、歓迎されない身体的接触や接触、人の身体を凝視すること、保護特性に関連した脅迫、威嚇、敵対行為などです。

- ・ 攻撃的またはわいせつな写真、カレンダー、ポスター、カード、漫画、絵や身振り、性的、暗示的または淫らな物の展示、わいせつな身振り、歓迎されない手紙やメモ、その他、保護されている特性を理由に個人を中傷したり敵意や嫌悪感を示すグラフィック素材などの視覚的行為。
- ・ 無償の妨害行為や業務遂行を阻害するような虐待的行為。

セクシャルハラスメント

州法および連邦法に違反するものであり、固く禁じられています。セクシャルハラスメントには、男性による女性へのハラスメント、女性による男性へのハラスメント、およびハラスメント者と同じ性別の人へのハラスメントが含まれます。また、これらに限定されるものではありません。

- ・ 以下の条件の1つ以上が存在する場合、歓迎されない性的誘いかげや性的好意の要求、または性的動機による身体的接触やその他の口頭または身体的行為、あるいは性的性質を持つ視覚的形態のハラスメントを行うこと。
- ・ そのような行為が明示的または黙示的に雇用の条件とされる場合、その行為に服従すること。
- ・ 従業員がそのような行為に服従したり拒否したりすることが、雇用の判断基準として使用される場合。
- ・ 従業員の業績または職場環境を実質的に妨害する目的または効果を持ち、敵対的、虐待的、威圧的、または攻撃的な職場環境を作り出す行為。
- ・ 卑語、軽蔑的なジョークまたはコメント、中傷またはコメントなどの言葉による行為。
- ・ 軽蔑的および/または性的指向のポスター、写真、漫画、図画、電子メール、またはジェスチャーなどの視覚的な表示。
- ・ 性別、人種、またはその他の保護されるべき特性を理由に、暴行、望まない接触、意図的な正常な動作の妨害、または業務の妨害を含む身体的行為。
- ・ 雇用継続の条件として、あるいはその他の損失を避けるために性的な要求に応じるよう脅したり要求したり、性的な好意の見返りとして雇用上の利益を提供したりすること。
- ・ 性的なジェスチャーをする、または性的なものを連想させる物、絵、漫画、ポスターを表示するなどの視覚的な行為。
- ・ 性的な性質を持つ言葉による虐待、個人の身体に関する生々しい言葉によるコメント、個人を表現する性的下劣な言葉、示唆的または卑猥な手紙、メモ、招待状など。

苦情処理手順

職場において差別やハラスメントが発生しないようにすることは、従業員一人ひとりの責任です。違法または不適切な差別やハラスメントを受けたと感じた従業員は、自分自身、または他の会社の上司、あるいは人事部にその事実を報告しなければなりません。従業員は、ハラスメント、差別、報復、またはその他の禁止されている行為を行った者に報告する必要はありません。従業員は、報復を恐れることなく、懸念を表明し、報告を行うことができます。さらに、違法なハラスメントや差別に気づいた、あるいはそれを目撃した上司や管理職は、直ちに人事部に報告しなければなりません。

当社は、ハラスメント、差別、報復、またはその他の禁止行為に関するあらゆる報告について、公正、適時、徹底的、効果的、かつ完全な調査を実施します。調査中、当社は、状況に応じて実行可能な範囲で機密を保持します。調査の結果、本ポリシーに違反するハラスメントや差別が発生したかどうかを判断します。

この方針に違反したと判断された当社の従業員は、即時解雇を含む、迅速かつ効果的な是正措置の対象となります。また、さらなる差別やハラスメントを防止するために、必要な措置がとられます。

カリフォルニア州法は、職場で禁止されている差別やハラスメントを経験した個人に対する救済策を規定しています。これらの救済措置には、雇用、前払い賃金、バックペイ、昇進、復職、停止命令、専門家証人費用、妥当な弁護士報酬と費用、懲罰的損害賠償、精神的苦痛に対する損害賠償が含まれます。

ハラスメントや差別に対する会社のポリシーに規定されている苦情や報告手続きに加え、差別やハラスメントを経験したと考えるカリフォルニア州の従業員は、カリフォルニア州公正雇用・住宅局（「DFEH」）に苦情を提出することができます。苦情は、最後の差別またはハラスメントの行為から1年以内、または18歳未満の被害者の場合は、被害者の18歳の誕生日から1年以内に提出する必要があります。詳細については、電話：(800) 884- 1684、TTY：(800) 700-2320、聴覚障害者用テレビ電話：(916) 226-5285、電子メール： contact.center@dfeh.ca.gov、またはオンライン： www.dfeh.ca.gov で、DFEHに連絡することができます。

当社は、あらゆる形態の報復のない職場環境を提供することに尽力しています。いかなる従業員も、苦情を申し出ること、あるいはハラスメントに関する経営陣の調査に参加することに対して報復を受けることはありません。違法または不適切な行為の可能性について報告、苦情を申し立てること、あるいはそれに反対すること、あるいはそうした行為に関する報告、苦情、調査、または手続きに参加することに対する報復は、当社の方針に違反する不正行為であり、容認されるものではありません。報復行為に関与したことが判明した従業員または独立した請負業者は、解雇を含む懲戒処分の対象となります。報復を受けていると思われる場合、そのような行為を直ちに人事部に報告しています。

また、ハラスメントや差別に関する誤った主張が、罪のない男女の生活やキャリアに深刻な影響を与える可能性があることを認識しています。当社は、ハラスメントや差別を許さず、そのような行為に関与した従業員を懲戒しますが、そのような行為のない快適な職場環境を確立するために、すべての従業員が責任を持って行動することを期待します。

当社は、故意に虚偽の申し立てや苦情を行った従業員、または当社が行う調査や手続きに協力しない従業員に対して、適切な措置を講じる権利を有します。

労働慣行

横浜ゴムグループは、すべての従業員および応募者に均等な雇用機会を提供することを約束します。従業員は、人種、宗教（宗教的な服装や身だしなみを含む）、肌の色、性別（妊娠、性自認、性表現を含む）、国籍、家系、年齢、障害、家族の病歴や遺伝情報、性的指向、性差別、トランスジェンダー、親の有無、身体または精神障害、病状、婚姻状況、登録家庭内パートナー状況、政治団体、軍務または退役軍人の状況、その他連邦・州・地域の法律で定められた非実力的要素などにかかわらず、そのポジションの要件を満足できるかどうかに応じて選ばれるようになっています。このポリシーは、上記の特性のいずれかに基づく、連想や認識に基づくハラスメントや差別を禁止しています。当社の経営陣は、採用、配置、昇進、異動、降格、解雇、募集、給与、その他の報酬形態、研修、およびその他の雇用条件に関して、このポリシーが確実に実行されるよう尽力しています。また、差別、ハラスメント、報復に関する報告については、誠実に調査するよう努めています。

障害を持つ有資格者を保護する連邦法および州法に基づき、横浜は、横浜に不当な苦難をもたらす場合を除き、それらの人々を合理的に収容するよう努めます。障害のある有資格の応募者または従業員で、職務の必須機能を遂行するために宿泊施設を必要とする場合は、人事部に連絡し、宿泊施設を要請することができます。

環境

YCNAとYTCは、米国での事業活動において、あらゆる方法で環境負荷を低減するための「グリーン・イニシアティブ」を実行に移しています。"BluEarth®"は、私たちのグローバルな環境ビジョンの包括的な名称です。BluEarthは、環境にも社会にも人間にも優しいタイヤを製造することを目的とした、私たちの製品エンジニアリングの哲学が盛り込まれています。私たちの製品の多くは、環境を保護するために特別に設計されています。

全てのヨコハマタイヤは、環境にできるだけ負荷をかけないよう、製造するタイヤとその製造工場ごとに設計されています。そのためヨコハマタイヤは、「地球温暖化防止」「資源循環」「省資源」「安全・快適性」という4つの環境基準を満たすように作られています。

例えば、YTCの商用トラック・バス用タイヤの多くは、米国環境保護庁（EPA）の検証済みタイヤ技術リスト「SmartWay®」に掲載されています。これらの製品は、SmartWayの「低転がり抵抗タイヤ」として認定されています。これらの製品は、SmartWayプログラムの厳しい検証済み低転がり抵抗の基準を満たしたもので、走行温度が低く、燃料消費量の削減に貢献し、コスト削減と環境への貢献につながるからです。

EPAはまた、当社のRY617（™ ステアおよびオールポジション・タイヤ）を、クラス8のラインホールドラックに使用されるリトレッドタイヤのSmartWay検証プログラムを確立するためのベンチマークケーシングとして指定しています。これは、すべてのリトレッドタイヤが、当社のケーシングの転がり抵抗の目標値に対して測定されることを意味します。これは、リトレッドタイヤをSmartWayプログラムに組み込むというEPAによる重要かつ必要な取り組みです。これはトラック運送業界がより燃費よくなるために役立っており、当社のケーシングがベンチマークとなることを大変うれしく思っています。

また、YCNAとYTCは、横浜ゴムの長期的かつグローバルな事業である「千年の杜（Forever Forest）」（工場周辺に森をつくり、大気中の二酸化炭素を吸収する）にも積極的に取り組んでいます。森をつくることで、地震や火災の際の避難場所として、安全・防災の面でも地域社会に貢献することができるのです。YCNAでは、これまでもミシシッピ州やバージニア州の米国工場「Forever Forest」の植樹に協力、実施しています。

公正な事業慣行

横浜ゴムグループは、お客様をはじめ、広く社会からの信頼と信用を得るために、最高の倫理基準に従って事業を行うことを方針としています。当社の従業員は、社会から不利な批判を受けたり、責任あるタイヤメーカーとしての評判を損なうことのないように商取引を行い、管理しなければなりません。常識と高い倫理観は、利益相反を回避するための最良の指針です。

この倫理規範は、当社で働く私たち全員に期待されるビジネス行動の基準を示しています。この規範は、団体協約の適用を受ける者を除き、ヨコハマのすべての役員および従業員に適用されます。この規範、会社の方針および手順、またはその他の関連するコミュニケーション（口頭または書面）のいずれも、雇用契約または雇用条件を創出したり、示唆したりするものではありません。

当社は、本方針と手続きを継続的に見直し、更新することに努めています。従って、この規範は修正される可能性があります。この規範のバージョンは、他のすべてのバージョン、ポリシー、手順、指示、慣行、規則、文書または口頭での表現と矛盾がある場合、それらに優先します。

ここに含まれる方針は、全国労使関係法の下で従業員が保護されている権利を妨げることを意図したものではありません。

従業員が違法または不正な行為について知っている、あるいはその懸念がある場合、その従業員は人事部に連絡することになっています。従業員は、根拠のない申し立てを避けるために、適切な判断力を行使しなければなりません。意図的に不正行為の虚偽の報告を行った従業員は、解雇を含む懲戒処分の対象となります。

ヨコハマの公益通報者保護方針は、以下の事項に関する苦情を対象としています。

1. 個人の行動に影響を与える手段として、有価物を提供、贈与、勧誘、または受領することに関連する贈収賄
2. 疑わしい会計または財務報告に関連する会計不正/窃盗（以下を含みます）
3. 使用者の虚偽の陳述または故意の過失
4. 違法な商行為に関連する反トラスト法

本ポリシーの4つの分野に該当する違法行為や不正行為に関するすべての報告は、調査および是正措置の調整に責任を負う人事担当者に速やかに提出されます。

これらの懸念がある従業員は、以下の秘密厳守の第三者報告システムを利用して報告を提出することを推奨しています。

ウェブサイト：

www.lighthouse-services.com/yokohamatire

匿名通報アプリ：キーワードは yokohamatire

フリーダイヤル：アメリカ英語圏：855-222-3717、スペイン語圏：800-216-1288

電子メール：reports@lighthouse-services.com（報告には必ず会社名を記載してください）

ファックス：215-689-3885（報告には必ず会社名を記載してください）

メール担当者：人事部、住所：1 MacArthur Pl., Suite 900, Santa Ana, CA 92707

消費者課題

プライバシーポリシー

ヨコハマタイヤ（Yokohama Tire Corporation、以下「YTC」と言う）は、お客様のプライバシーを保護するために、お客様からご提供いただいた情報を適切に取り扱うことをお約束します。

この個人情報保護方針は、当社の方針とお客様が有する個人情報の権利を管理する方法について説明しています。

YTCが収集する個人情報

当社が収集する情報の種類は、お客様とのやり取りにより異なります。例えば、お客様が当社保証のためにタイヤを登録する場合、当社は、お客様が当社製品に関する情報をEメールで受け取るために登録する場合よりも多くの異なる情報をお客様から収集する場合があります。ほとんどの場合、当社はお客様から直接個人情報を収集します。

YTCが収集する個人情報のカテゴリーは、「データのカテゴリー」、「データのソース」、「ビジネスまたは商業的な処理目的」に分類されます。

データの分類	データの情報源	商用利用としての目的
氏名、連絡先、その他の識別情報	通常、これらの情報はお客様から直接収集します。例えば、当社のメーリングリストへの掲載を希望される場合や、リコール目的でタイヤを登録される場合などです。場合によっては、販売店がプロモーションの一環として当社に情報を提供することもあります。当社は、ディーラーを含む第三者がお客様の情報をどのように収集し使用するかについて、いかなる表明も行いません。	<ul style="list-style-type: none"> お客様が希望される、または購入された製品またはサービスを提供するため 当社のサービスを改善するため 横浜ゴムおよび当社製品についてお客様と連絡を取るため 法律で義務付けられているリコールプログラムに協力するため
購入、入手、検討した製品またはサービスを含む商業情報	当社は、お客様が当社のオンライン商品ストアでお買い物をされる際、および保証、リポート、プロモーションの一環として、これらの情報を収集します。	<p>法律で義務付けられている通り、</p> <ul style="list-style-type: none"> お客様が要求または購入された製品またはサービスを提供するため リコールプログラムを支援するため
銀行口座番号、クレジットカード番号、デビットカード番号、類似情報などの財務データ	当社は、お客様がオンライン商品ストアで行う支払いを促進するために第三者処理機関を使用しているため、お客様の支払いカード情報を保存したり、将来アクセスしたりすることはありません。当社は、給与および福利厚生などの目的で、従業員および関係者から銀行口座情報を収集します。	<ul style="list-style-type: none"> お客様が要求または購入した製品またはサービスを提供するため 当社の人的資源を管理し、法的要件を満たすため
インターネットおよびその他の電子ネットワーク活動	お客様が当社サイトを訪問されると、当社サイトでの閲覧活動、閲覧またはクリックされた広告、使用された検索用語などの情報を収集します。当社のシステムは、すべてのウェブサイト訪問者からIPアドレス、ブラウザの種類と言語、オペレーティングシステム、デバイスの種類、およびハードウェアの属性などの情報を自動的に収集します。	<ul style="list-style-type: none"> 技術的な問題を診断し、システムのセキュリティを確保するため 横浜ゴムおよびその製品に関する情報をお知らせするため
所在地	例えば、最寄りの販売店をお探しの場合、お客様の所在地をお伺いすることがあります。	お客様が要求または購入された製品またはサービスを提供するため。
音声、電子的、視覚的、または類似の情報	当社の施設および従業員の物理的セキュリティを確保するための取り組みの一環として、この分類の情報を収集することがあります。また、当社のソーシャルメディア・プラットフォームにアクセスし、写真やその他のユーザー作成コンテンツを提供することを選択する場合があります。	当社のサービスを改善し、横浜ゴムおよび当社の製品についてお客様と連絡を取り合うため、および物理的なセキュリティのため。
職業または雇用に関する情報	当社では、通常の人事手続きの一環として、求職者、従業員、元従業員、および関係者からこれらの情報を収集します。これには、必要に応じて組合員情報も含まれます。また、LinkedInなどの第三者のネットワーキングサイトからこれらの情報を収集することもあります。	当社の人的資源を管理し、法的要件を満たすため。
教育識別情報	当社は、通常の人事手続きの一環として、求職者、従業員、元従業員、および関係者からこの情報を収集します。	当社の人的資源を管理し、法的要件を満たすため。
機微な識別情報	状況によっては、当社の人事手続きの一環として、求職者、従業員、元従業員、および関係者から社会保障番号、運転免許証番号、州身分証明書番号、またはパスポート番号を収集することがあります。	当社の人的資源を管理し、法的要件を満たすため。
カリフォルニア州法または連邦法で保護される分類	当社は、通常、雇用手続きの一環として、法律で義務付けられている場合に限り、これらの情報を収集します。(リストについては、 https://www.senate.ca.gov/content/protected-classes) をご覧ください。	当社の人的資源を管理し、法的要件を満たすため。
参考	横浜ゴムでは、他の多くの企業と同様に、お客様のウェブサイトへのアクセスを向上させるために、広告の文脈に応じたカスタマイズを行っています。当社では、お客様の顧客体験のプロフィールを作成することはありませんが、その代わりに、お客様が当社のウェブサイトから退出した後、お客様と広告を共有するためにこの情報を使用します。	当社のサービスを向上させ、横浜ゴムおよび当社製品についてお客様と連絡を取るため。

コミュニティへの参画と発展

YCNAとYTCは、地域社会への貢献や危機的な状況の支援に長い間取り組んできました。このコミットメントと支援を必要とする人々への貢献は、日本の親会社である横浜ゴム（YRC）が最近、ウクライナ難民を支援するために従業員が出資する「YOKOHAMAまごころ基金」を設立し、総額5千万円の寄付を行ったのと同じことです。YCNAは、ウクライナの人道危機に対して、赤十字・赤新月社のパートナーであるアメリカ赤十字社と連携して支援を行っています。私たちは、この活動を支援し、影響を受けているすべての人々に必要なサービスを提供しているすべての従業員の存在に勇気づけられています。

また、パンデミックの最中、YTCはセント・クリストファー・トラック運転手開発救援基金（the St. Christopher Truckers Development and Relief Fund）と提携し、病気やケガで運転を休止することになったトラック運転手とその家族の支援にあたりました。

YTCは、米国内に環境に優しいKaBOOM! プレイグラウンドを4つ新設し、何千人もの地元の子どもたちがより健康的な生活を送れるよう支援しました。

また、USユースサッカーの主要スポンサーとなり、「Yokohama Skills Challenge」を通じて青少年のサッカー技術向上を支援しています。

2023年には新たに、ユーススポーツのパートナーであるスティール・スポーツの進学を支援する奨学金プログラムを創設しました。また、High Fives Foundationと提携し、人生を変えるような怪我を防ぐことに焦点を当て、万が一怪我をしてしまった場合の救済策や助成金を提供しています。

YCNAとYTCにとって、地域の安全は最も重要なことです。そのため、YTCヨコハマでは、米国タイヤ協会が毎年開催する「タイヤ安全週間」を支援し、消費者にさまざまな安全対策やメンテナンス方法を伝えるためのビデオ制作を行っています。

Yokohama Tire (Canada) Inc. (YTV) (カナダ)

事業内容

ヨコハマブランドのタイヤの販売、技術サポート、カスタマーサービスなど。

従業員数

75名 (2023年6月時点)

所在地 (本社)

#500-9325 200th Street, Langley, BC, Canada V1M 3A7
アルバータ州とケベック州に30万平方メートルを超える物流センターを所有。

ウェブサイト

www.yokohama.ca



社長メッセージ



Eric Dedoyard

ヨコハマタイヤカナダは、1983年の設立以来、カナダで長い歴史を持つ、ヨコハマグループの誇りある一員です。多言語が使用される広大な国土が広がる中でオフィスを構え、従業員がお客様の求める製品を確実にお届けし、アフターサービス、プロモーション、サポートを提供することで、お客様の使用体験を向上することで、ヨコハマブランドを成長させることに努めています。社会が環境、社会、ガバナンスのESG問題を認識し、企業への期待が高まる中、ヨコハマタイヤカナダは、すべての地域の法律と取引する人々を尊重し、事業を行うコミュニティや環境を支援することによって、社会的に責任ある良き企業市民であることを約束します。

組織統治

ヨコハマタイヤカナダの事業運営は、取締役会の監督下にある執行委員会が行っており、ヨコハマコーポレーションオブノースアメリカ (YCNA) の一部門です。ヨコハマタイヤカナダは、横浜ゴムの企業行動憲章とグローバル財務報告ポリシーに従います。全従業員は法律を尊重しなければならず、コンプライアンス、倫理、情報セキュリティに関する必須トレーニングを毎年受講することが義務付けられています。

人権

ヨコハマタイヤカナダは、差別やハラスメントのない安全で尊重される職場に対する従業員一人ひとりの権利を尊重します。多様性のある職場であり、従業員やビジネスパートナーの処遇に関して、人種や民族、年齢、性別などに基づくいかなる差別も容認しません。

労働慣行

ヨコハマタイヤカナダは、給与や労働条件について、連邦、州、または自治体の法律や規制に従って公平に扱われるすべての従業員の権利を尊重します。当社は、従業員との定期的な業績評価レビューを行い、スタッフの継続的な技能訓練と育成、従業員の長期勤続と好成績に対する表彰に努めています。

そして、ポストCOVIDワークスタイルとして、ハイブリッド・リモートワークとジェアオフィスを採用しました。

環境

ヨコハマタイヤカナダは、環境を改善するための取り組みを行っています。例えば、道路をきれいに保つための「ゴミ拾い活動」、フォークリフトの電動化、電気使用量を減らすためのLED照明への切り替え、印刷や紙の消費量の削減、業界団体に参加して使用済みタイヤをリサイクルし、埋め立て地へ運ばれるゴム廃棄物を減らすことなどがあります。

公正な事業慣行

ヨコハマタイヤカナダは、顧客、パートナー、競合他社と、誠実かつ公正な競争の精神に基づき、取引を行います。私たちは、不適切な行為、贈収賄、汚職、談合を禁止する法律と競争規則を遵守します。

消費者課題

ヨコハマタイヤカナダは、販売前から販売後のサポートまで、エンドユーザー向けのさまざまなサービスを提供しています。正規販売店探し、プロモーション支援、リベートプログラムの提供、保証クレームの対応、クレームの解決などです。また、バイリンガルのカスタマーサービスコールセンターを設置し、オンラインでもアクセスできるようにしています。

コミュニティへの参画と発展

ヨコハマタイヤカナダは、全国のパートナーやお客様からの支援によって繁栄してきました。そこで、私たちが事業を行う地域社会の人々の健康や生活の質を向上させるために活動している慈善団体や非営利グループに寄付をすることで、お返しをしたいと考えています。社員がボランティアとして参加している団体や、何らかの形で直接つながっている団体を支援することを推奨しています。また、横浜ゴムは、日系カナダ人博物館と文化センターを維持するための資金を調達するために、日本の芸術、文化、遺産を祝う「日経まつり」のスポンサーをしています。

Yokohama Tire México, S de RL de CV (YTMX) (メキシコ)

事業内容

メキシコ、グアテマラ、エルサルバドル、ホンジュラス、パナマ、カリブ海諸国におけるタイヤの販売およびマーケティング活動。

従業員数

53名 (2022年12月現在)

所在地

Querétaro, Qro, México.

コーポレートオフィス

Bernardo Quintana 300 Int. 1102 Torre 57, Centro Sur, Querétaro, Qro. Mexico.

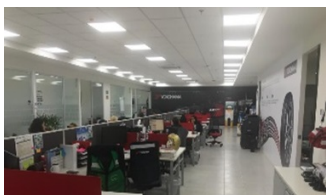
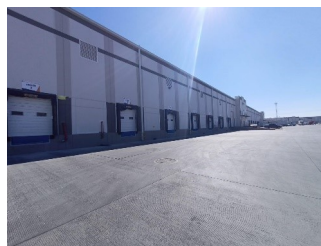
保管倉庫

Querétaro, Qro. 175K tires capacity, Saltillo, Coahuila 5K tires capacity, Toluca, Mex. 50K tires capacity.

相談・苦情の受付窓口

TEL : +52 442 4049500

電子メール : luis.bante@yokohamatire.mx



社長メッセージ



Humberto Marcos Gómez Rojo

ヨコハマタイヤメキシコ (YTMX) は、2013年に設立されたヨコハマコーポレーションオプノースアメリカ(YCNA)の子会社で、メキシコ市場および中米・カリブ海市場を統括しています。私たちは、経済・環境・社会の各分野で持続可能な社会を実現するために、強い倫理規範と原則・価値観を持つ企業文化の構築に設立時から取り組んでいます。

今年、横浜ゴムの経営ビジョンである「グローバル社会に貢献する信頼される企業」を目指し、YTMXのCSR戦略を策定・実行し、活動を強化していくことを目標として取り組んでいます。

組織統治

YTMXの全社員は、会社の方針と価値観、品質マネジメントシステムの各手続き、特に倫理規定のトレーニングを受けています。

トレーニング後に各メンバーが署名を行い、全社員に周知・理解させています。

また、倫理規定の内容を毎年評価し、すべての教訓を心に留めていることを確認しています。

人権

YTMXの倫理規定には、機会均等、無差別、セクシャルハラスメント、非暴力などの項目があり、チームメンバーの人権を侵害する違反行為を報告する仕組みも備えています。また、協力者（業務上の関係者）の心理社会的リスクを特定するための手段も用意し、遵守しています。

労働慣行

私たちの仕事哲学は「人」を中心に据えたものであり、競争力のある給与や福利厚生、理想的な職場環境と永続的な雇用を可能にする育成プログラムなどを提供することに努めています。毎年、さまざまな評価手段を用いて、当社の労働慣行を継続的に改善するための機会領域を特定しています。YTMXでは、協力者（業務上の関係者）の安全を最優先しています。

環境

近年は、環境に関する活動も行っています。

- ・ 電気代や照明費の削減、無駄な印刷の削減、紙の節約など、スタッフ全員で取り組んでいます。
- ・ YTMXはゴム会議所に参加しており、使用済みタイヤの回収活動に参加しています。
- ・ 使用済みタイヤの処理については、メキシコの法的規定に基づき、認定されたサプライヤーが責任を持って処理をしています。



公正な事業慣行

汚職・不正行為に関する方針

私たちは、賄賂などの利益供与を行わないことを徹底し、腐敗の防止に努めています。社内外からの匿名での通報を可能とするため、以下のような窓口を設けています。

電子メールでのお問い合わせ先： etica@yokohamatire.mx

ホットライン（秘密厳守）： 800-2161288 または <https://www.lighthouse-services.com/yokohamatire>

消費者課題

私たちは、お客様の満足（QMS）を第一に考えています。

- ・ マツダ純正品のお客様には、1-800番線を設けています。
- ・ 連邦消費者弁護士会（PROFECO）を通じて寄せられた苦情や提案に対応しています。

最終的なお客様の満足度を保証するために、当社独自の「マイレージ保証」をメキシコで実施しています。

コミュニティへの参画と発展

老人ホーム「サン・フランシスコ・デ・アシス(San Francisco de Asís)」への衛生・健康用品の寄付を行いました。

さらに、YTMXではCSR活動により良い方向に進みたいと考えており、2022年末には、B認定モデルによる診断から始まるプログラムを設計しました。

1. ガバナンス：ミッション、倫理、企業責任、透明性に関する方針と実践をどのように改善するか。
2. 労働者：従業員の経済的、身体的、職業的、社会的幸福に貢献するために、どのように改善するか。
3. 地域社会：地域社会の経済的・社会的福祉に貢献するために、私たちに何ができるか。
4. 環境：環境マネジメントを改善するために、私たちに何ができるか。
5. 顧客：YTMXの製品およびサービスの顧客および最終消費者にもたらす価値をどのように向上させることができるか。
6. 情報開示：企業の社会的責任の原則に反する行為をどのように特定するか。

この診断の結果、私たちは活動計画を立て、社会とYTMXにより良い影響をもたらす目標を定めたCSR行動へ進むことができますようになります。

